

小学4年 社会 — 解答と解説

1

問1	問2	問3	問4	問5			
エ	イ	ア	ウ	(1)	ウ	(2)	イ
21	22	23	24	25	26		

問6						
(1)	ラ	イ	フ	ラ	イ	ン
						27

問6						問7					
(2)	ハ	ザ	ー	ド	マ	ッ	プ	(1)	イ	(2)	ウ
								28	29	30	

問8
エ
31

2

問1	問2									
西	②	コ	③	カ	④	エ	⑤	ク	⑥	オ
32		33		34		35		36		37

問3					
(1)	ㄩ	(2)	エ	(3)	ア
		38		39	40

(配点)

③ 問7(2) 6点

① 問2、問3、問4、問6(2)、問7(2)、問8 ② 問3(1)、③ 問8 各3点
上記以外各2点 計100点

3

問1				問2				
A	エ	B	オ	C	ウ	D	イ	2
41		42		43		44		45

鹿見島 (かごしま)		(県)	広島 (ひろしま)	(県)
46			47 (順不問)	

問4								
(1) A	四国 (しこく)	(山地)	B	瀬戸内 (せとない)	(海)	C	高知 (こうち)	(平野)
48				49				50

問4									
(2)	エ	(3)	ア	(4)	そ	く	せ	い	(栽培)
51		52		53					

問5								
(1) i	イ	ii	エ	(2)	エ	(3)	りゅうきゅう	(王国)
54		55		56		57		

問6				問7						
(1)	十勝 平野	ウ	根釧 台地	エ	(2)	ウ	(3)	エ	(1)	えちご
58		59		60		61		62		

問7	
(2)	(信濃川と利根川の流量をくらべると) 4月 (か最も流量の差が大きく、これは) 冬にふった雪がとけて川に流れ込んでいる (からだと考えられる。)
63 64 65	

問8
エ
66

【解説】

① 日本の災害に関する問題

問1 B1 置き換え 関係づけ

aの地域では、低温ややませによる冷害を受けやすくなっています。やませは夏に東北地方の太平洋側などに北東から吹く、千島海流の影響を受けた低温多湿な風で、海に面した平野などに濃霧などを発生させるため、吹き続けると冷害の原因となります。東北地方だけでなく北海道地方や関東地方の太平洋側にも吹くことがあります。bの日本海側の地域では冬に多量の降雪が見られるため、雪崩や交通がマヒするなどの雪害を受けることが多くなります。cの太平洋側では台風や梅雨による水害を、dの瀬戸内海沿岸では干害を受けることが多くなっています。干害の対策として讃岐平野では多くのため池が設けられています。

問2 B1 具体・抽象 比較

円グラフをしっかりと理解して読みとることで、答えを選ぶことができます。円グラフ全体が世界をあらわしており、日本もその中にふくまれていますので、イがあやまりとなります。なお、日本の被害額は世界の中でも上位となっています。

問3 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え

大きな地震の場合、被害は建物や道路、電気・ガス・水道などの施設をふくめて広範囲におよびます。そのため被害額が非常に大きくなります。地震以外は、イが台風、ウが洪水、エが地すべりとなっています。

問4 B1 順序立てて筋道を捉える 置き換え

地震が起きる流れがわかる図を見て、ふさわしい説明の組み合わせを選ぶ問題です。図に表現されているものを読み取ることで、ふさわしい説明を選ぶことができます。プレートが引きずり込まれ、その反動ではねあがることで地震が起きるといいう仕組みからも、プレートの境界に位置する日本では地震が多くなってしまうことがよくわかると思います。

問5

(1) A2 分類

オーストラリアプレートは日本の南にあるオーストラリア大陸のをせるようにして存在しているプレートです。そのほかの4つは日本を囲んでいます。いずれも位置する大陸や海洋などの名称と関係がありますので、大陸や海洋の名前とセットで覚えておくとよいでしょう。

(2) B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 比較

陸のプレートに沈み込んだ海のプレートから水のような成分が放出され、これによりマグマが発生し、上昇します。これがさまざまな作用を受けて地表に噴出し、プレートの境目である海溝沿いの火山となります。そのため、海溝にほぼ平行に火山が分布することとなります。

問6

(1) A1 知識

ライフラインは直訳すると「生命線」という意味で、電気やガス、水道、食料など災害時に最も優先で確保しなければならない輸送ルートのことです。

(2) A1 知識

ハザードマップは地震や火山活動、水害などの各種の災害の被害を予測し、その被害範囲や状況を地図化したものです。災害が発生した場合の避難経路や避難場所などが地図に示されています。ハザードマップは作成している地方自治体のホームページ上で公開されているので、誰でも確認することが可能になっています。

問7

(1) A1 置き換え

自然災害伝承碑の記号は、2019年から国土地理院によって制定された地図記号で過去に起きた津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害の情報を伝える石碑やモニュメントを表示しています。地図記号は、記念碑の記号に碑文を表す縦線を加えた形となっています。

(2) B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

火山災害は富士山や浅間山のあたりにあることからア、高潮は東京の湾岸など海拔の低い地域にあることからイ、津波は海岸沿いに広く分布していることからウと判断することができます。国土地理院のホームページでは土砂災害や洪水などの分布図もみることができます。自分の住んでいる地域ではどんな自然災害伝承碑があるのか確認し、どんな災害が過去に起こっているのかを知ることも防災の意識を高めることにつながるでしょう。

問8 A2 比較

災害へは常に事前に対応を想定し準備しておくこと、自然をあなどらないことが大切です。日ごろから防災用品をそろえておくこと、安全な避難所を確認しておき、早めに避難の判断をすることが大切です。日ごろから「こんな場合はどうする？」と家族でどう避難するかを話しておくことも大切です。

② 地図に関する問題

問1 B1 置き換え

地図は方位記号が示す先、または方位記号がない場合は原則として上が北になっています。ですから3人は駅から西に進んで公園に向かうこととなります。四方位は東西南北、八方位はそれに北東、北西、南東、南西が加わります。

問2 **B1** **置き換え**

会話を読み、地図とてらしあわせながら、正しい語を選んでいく問題です。右や左など方位ではない場合、自分がどちらをむいているのか、地図の中に立っているような気持ちで読み進めるとイメージしやすくなりますよ。

問3

(1) **A1** **置き換え** (2) **A2** **比較** (3) **A2** **比較** **理由**

消防署の地図記号はさすまたを図案化したものです。さすまたは江戸時代に犯罪者を捕獲するための道具としてつくられました。町火消しが延焼を防ぐため家屋を引き倒す時にも使われました。

③ **都道府県に関する問題**

問1 **A2** **分類**

すべてを覚えていなくても、都道府県のイメージを思い浮かべること、答えを推測することができます。例えばBは「東京都や大阪府、神奈川県があるから人口の多い順かな？」と一瞬思いますが、香川県があるので、「いや、これは面積が小さい順でDが人口の多い順だろうな」と考えることができます。普段から都道府県のイメージを持つておくことは推測を働かせるときに有効です。

問2 **A2** **比較**

47都道府県の中で海に面していない都道府県は栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、岐阜県、滋賀県、奈良県の8県です。したがってカードの中にある長野県と埼玉県の2県が解答となります。

問3 **A1** **知識**

都道府県には共通した漢字を使っている都道府県は多くあります。いちばん多いのは「山」で山形県・山梨県・富山県・和歌山県・岡山県・山口県が使われています。ほかにも今回の「島」や「福」「岡」「川」などが上位になっていますので、調べてみてもおもしろいですよ。

問4

(1) **B1** **置き換え**

社会では地形の名前や場所がたくさん出てきます。その中でも地方や都道府県の名前がついている地形は覚えやすいものといえるでしょう。四国地方にあるから四国山地、高知県にある平野だから高知平野など、地形の名前を覚えるのが苦手だという人は、まずは覚えやすいものからしっかりと身に付けることを意識していきましょう。

(2) **B1** **視点を変える** **置き換え** **比較**

季節風は日本の気候に大きく影響を与えるものです。そのためよく出題される問題とも言えます。

冬は北西から、夏は南東からと東西南北ぎやくが逆さかになっていることがポイントです。季節風りかいを理解しておくことで、日本の気候区分きこうくぶんで日本海側ほんかいがわは冬に降水量こうすいりょうが多いという意味もわかってきます。冬は北西、夏は南東、これだけですので、確実にかくじつ覚えるようにしましょう。

(3) **B1** 置き換え

高知平野では、1970年ごろから、ビニルハウスをつくり、なすやピーマン、きゅうりなどの夏野菜なつやを春先はるにつくる促成栽培そくせいさいばいがさかんになりました。夏野菜が季節きせつを問わずに食べられるのは本当は不思議なことなのです。スーパーなどを訪れた際には「この野菜は本当はどの季節にたくさん育てられるのだろう？」と疑問ぎもんを持って、調べてみるとおもしろいですよ。

(4) **A1** 知識

促成栽培のように本来の季節からずらして野菜を生産・出荷することで、出回る量りょうが少ないことから高い値段ねだんで売ることができます。

問5

(1) **B1** 置き換え 比較

アメリカ軍基地の面積めんせきは、沖縄島のおよそ15%をしめています。また日本国内にあるすべてのアメリカ軍施設めんせきの面積の約70%をしめています。

(2) **A2** 比較

さとうきびは、強風みずぶそくや水不足たいへんに対して大変強い作物で、このため、台風や干ばつなどの厳しい自然環境ぜんかんきょうにある鹿児島県南西諸島及び沖縄県においては、欠かすことのできない作物となっています。

(3) **A1** 知識

琉球王国であったころの首都げんざい（首里）が、現在の県庁所在地である那覇市で、首里城などの琉球王国の遺跡は世界文化遺産に登録されています。首里城の守礼門が有名です。しかし、首里城は2019年に焼失し、再建が目指されています。

問6

(1) **B1** 置き換え 比較

アは石狩平野、イは上川盆地、オは知床半島です。

(2) **B1** 置き換え 比較

海流の問題は入試でもよく出題されます。覚えるべき海流は4つで、暖流と寒流それぞれ2つずつです。対馬海流と千島海流が読み方が似ているので混乱こんらんしやすいですが、地図を見ると対馬海流は対馬のあたりを通過していますし、千島海流は千島列島にそって南下しています。このようにして覚えるとまちがえにくくなります。

(3) **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

北海道での生産が100%ということで、選ぶことができます。アが大豆、イがたまねぎ、ウがばれいしょです。

問7

(1) **B1** 置き換え

越後は、新潟県のあたりをさし、日本がいくつもの国に分かれていたときの昔の国名です。紀伊、土佐、薩摩など、昔の国名は今でも多くの地名に残っています。昔の国名の一覧は地図帳などについていることが多いので、ぜひ調べてみてください。

(2) **B2** 特徴的な部分に注目する 推論 理由

信濃川と利根川の流量の違いに注目し、最も流量の差が大きい月と、その理由について答える問題です。流量の差については信濃川と利根川で棒グラフを比較し、4月が最も流量の差が大きくなっていることがわかります。この差は日本海側で雪が多く降ることと関係しています。雪は積もって、すぐに川に流れることはありません。春になって雪解け水として、川に流れ込むこととなります。このため信濃川では春の3月から流量がぐっと増えることとなります。

問8 **B1** 特徴的な部分に注目する 置き換え 関係づけ

アは北西季節風の影響を受け冬に降水量が多くなる日本海側の気候の特色を示す新潟県上越市、イは梅雨や台風の影響で6、7月、9月に降水量が多くなる太平洋側の気候の特色を持つ高知県高知市、ウは冬の寒さが厳しい北海道の気候の特色を示す北海道札幌市、エは降水量が多く気温の高い南西諸島の気候の特色を示す沖縄県那覇市の雨温図です。

(記述問題の採点について)

・明らかな誤字・脱字がある場合……1点

